

2014年8月3日 No.212

日本共産党東海市委員会

電話・FAX 0562-34-4001

赤旗読者ニュース

困りごと・生活相談・ご意見は

辻井タカ子議員 電話：052-604-7914

坂 ゆかり議員 電話：0562-38-6085

4度目の「黒煙噴出事故」！

日本共産党議員団、市に申し入れ



辻井タカ子、坂ゆかり議員は、新日鉄住金の4度目の「黒煙噴出事故」について鈴木東海市長に以下の内容の申し入れを行いました(写真は近藤副市長)。

2014年7月30日

東海市長 鈴木 淳雄 様

日本共産党知多地区委員会委員長 長友 忠弘

同 東海市議団 団長 辻井 タカ子
坂 ゆかり

新日鉄住金名古屋製鉄所における停電・黒煙事故に関する申し入れ

7月27日午前7時15分頃、新日鉄住金名古屋製鉄所は、今年4度目の停電・黒煙噴出事故を起こした。「原因はまだ特定されておらず引き続き調査を進めている」とのことだが、28日午前にはすべてのコークス炉と高炉の稼働を再開。今回もまた原因究明前に再稼働に入った。

日本共産党東海市議員団は、1月の2回の黒煙噴出事故を受け市に申し入れを行い、事故原因の背景に施設の老朽化や技術者不足など指摘し徹底した再発防止策を強く指導する等求めてきた。また、6月22日の3回目の事故の際には、日本共産党佐々木憲昭衆院議員、井上哲士参院議員が2日間にわたって現地調査に入り、市・県・新日鉄住金名古屋製鉄所と懇談。原因究明がされないまま再開していることを問題視し、市民への丁寧な説明と再発防止策を再度求めたところでもある。

このような度重なる停電事故が発生する事態は、エネルギー関係におけるトラブルの原因を徹底的に解明し

ないまま、その場しのぎでの対策で生産を優先させた結果と言わざるを得ない。また、一つ間違えれば大惨事にもつながりかねない事態であり、そこで働く労働者と地域住民の安心・安全を軽視するものである。その中でも、地域住民は黒煙等による健康被害、飛散したタールの被害に不安を抱き、市・同製鉄所に不信、怒りを募らせている。そこで、市として以下の対策をとるよう申し入れる。

記

- 1、新日鉄住金名古屋製鉄所に対し、操業停止も辞さない立場で徹底した原因究明と再発防止策を講じるよう強く指導すること
- 2、エネルギー関係施設の全面的見直し、老朽設備の更新、技術者など人的体制の強化を求めること
- 3、市民に対して事故の経緯と防止等対策を説明させ、謝罪させ、大企業の社会的責任を果たさせること
- 4、市は、飛散した黒煙等による健康被害やタールの被害についての実態調査を行い同製鉄所に補償させること

熱中症多発!! 気をつけましょう!

東海市では7月30日時点、熱中症で37人が救急搬送されています。熱中症は予防が大切です。

以下の事に気を付けて、快適に夏を過ごしましょう。

熱中症が発生しやすい時

- ・気温が高い・湿度が高い
- ・風が弱い・急に暑くなった

予防は涼しく、水分補給を

- ・のどが渇く前に水分をこまめにとる・こまめに休憩・涼しい服装・外出には日傘・帽子を

(東海市ホームページより)



網の目

平和行進



今年も21日、網の目の平和行進が常滑～知多～東海市までの道のりを元気に行進しました。解散トークでは、「東海市では中学生の沖縄の体験学習が毎年行われ、学生だけでなく引率の先生たちも一緒に学んでいる。来年は被爆70年を迎え、核兵器廃絶の運動をますます草の根から大きな世論にしていきたいと思います」と日本共産党の辻井タカ子さんから話がありました。参加者延べ80人、沿道署名108筆、カンパは10,337円寄せられました。ご協力ありがとうございました。

お知らせコーナー

❖ 「原爆と人間のパネル展」

・8月7日～13日 ・東海市図書館2階
連絡先：大久保 052-603-5718

❖ 「戦争を語り継ぐ会」

“原爆と人間展” パネル展示と“永久の祈り”朗読会
・8月16日(土)、17日(日)
・東海市文化センター ・入場無料